

きりたんぼラウンド in Akita

H26. 2. 1
大町ビル



昨年度に引き続き2回目の秋田県ラウンドは、県内各地はもとより、山形県・岩手県からもご参加をいただき、総勢27名で開催することができました。

話題提供及び意見交換では、熱く語り合う時間となり、開催にあたり各方面からのご協力に対しまして心より感謝いたします。

1 話題提供 「第34回秋田県学校体育研究大会秋田大会に向けて」

今回は、秋田市実行委員会より、小・中・高等学校のそれぞれの実践について話題提供がありました。秋田市大会に向けた取組について、秋田市立牛島小学校の高橋先生からは、研究主題に向けたこれまでの取組の紹介がありました。今後の課題として「研究授業を通して得られた成果を、子どもの実態に合わせて実際の授業にしていける教師のコーディネート能力の育成」「各校種での授業実践による検証」の2点が挙げられました。

小学校の取組として、秋田市立勝平小学校櫻井先生より、第1学年における「多様な動きを作る運動遊び」の実践について紹介がありました。教師が提案した「おしり歩き」「足首もって歩く」「クモ歩き」を行い、わくわくカードゲームでは、カードに書かれている動きにグループ全員で取り組む様子が映像で紹介されました。楽しみながら運動に取り組んでいる様子が伺えました。

中学校の取組として、秋田市立下北手中学校の平野先生より、市内の中学校1年男子の取組が紹介されました。体力を高める運動について、もとなる動き（提示する動き）→工夫した動き（できるやり方に）→発展した動き（創る喜び）の流れで実践された内容でした。今後「提供する基本の運動を選択する」「運動の工夫の仕方例を作成する」という課題が挙げられ、さらに、生徒に分かりやすく取り組みやすい教材づくりをしようという意気込みが伺えました。

高等学校の取組として、秋田市立秋田商業高等学校山本先生より、「アンケート結果をもとにした生徒の実態把握」を行い、その結果を分析し、今後の授業づくりに生かしたいという内容でした。他領域及び体育理論との関連を図りながら、実践を行っていきたいという興味深いものでした。

2 グループ協議

話題提供を受けて、改めて「体づくり運動」に示されている内容についての理解を深めなければならないことや実際の指導で「指導と評価の一体化」についてどうあるべきかということが話し合われました。

系統性について、実践の内容において小中・中高の接続について、普段感じていることなども話し合いながら熱心な協議が行われました。

「今後の課題がはっきりと見えて良かった。」「体づくり運動の内容を学べる機会にできてよかった。」「系統性についての考え方が勉強になった。」「こうした勉強ができる会をこれからも行いたい。」などの声がありました。

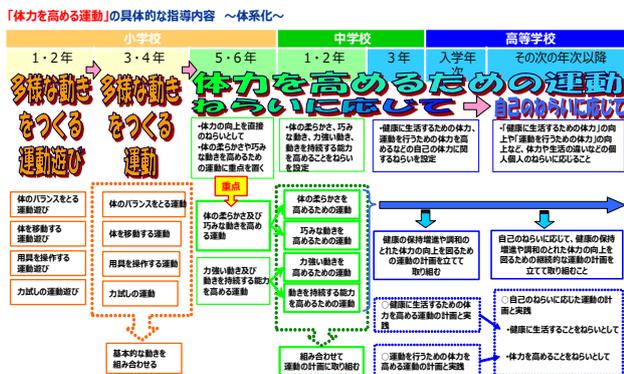


3 まとめ ～佐藤 豊先生のご指導から～

佐藤豊先生からは、大会テーマとの関連から大きく2つの視点でまとめがありました。

体力を高める運動の体系化について

・体系化とは、一直線上に技能を高めるということではなく、4・4・4のまとまりにおいて、発達の段階に応じたそれぞれのねらいがある。



指導と評価の一体化について

・教えるべき内容をしっかりと教え、評価機会を工夫することが大切であり、できる・できないを単に見取るのではなく「態度・技能」に関しては評価機会の設定を工夫することが大切である。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
単元計画	共通メニュー(準備運動、今日の学習内容の確認)※体づくし運動の活用																		
運動の技能	①	オリエンテーション		ラケット操作 ① ラケットの持ち方 ボールの蹴り方 ドリブル・ストップ ボールコントロール練習				ラケット操作 ② グラウンドスロークロススマッシュ・サーブ練習 ボールを持たないときの動き				課題別練習 ボールの確保		グループ別練習					
	②	ゲームⅠ 楽しいゲーム		ゲームⅡ (5人ラケットゲーム)				ゲームⅢ (3人ラケットゲーム)				ゲームⅣ (2人簡易化ゲーム)		グループ別対抗戦					
	③	共通メニュー(整理運動、振り返り、次回課題等)																	
	④	動きやゲームの様相 「空いた場所への攻撃を中心にラリーを続けるゲーム」																	
留意点	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">1 指導機会</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">2 継続期間</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">3 評価機会 (形成的)</div> </div>																		
忍・科 技能																			
知・理																			

